

やすらぎの園託児所

外部利用希望者受け入れへ



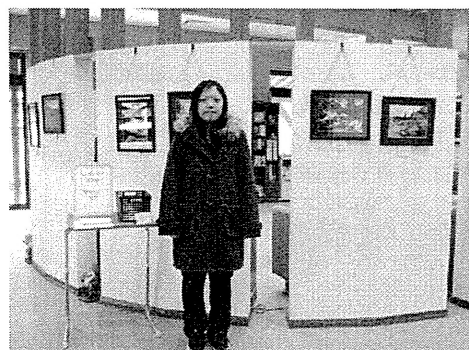
ハロウィンの様子(H30.10.30)

平成 27 年 10 月に開設したやすらぎの園託児所。開設当初より施設職員のお子さんを対象として保育を行ってまいりましたが、外部からの問い合わせ等もあり、また、昨年 1~2 月に近隣の新興住宅地である杵淵東・西地区において実施した保育ニーズアンケートの結果からも、この地域における保育ニーズ、特に 3 歳未満の幼児の保育ニーズが高い傾向が窺えたことから、当法人が目的として掲げる「次代を担う児童が健やかに育成される地域づくり」に資するため、昨年 6 月より外部利用希望者の受け入れを始めました。6 月に男児 1 名(11 月末で利用終了)、10、11 月に女児を 1 名ずつ受け入れ、現在は施設職員のお子さん 4 名と外部利用のお子さん 2 名が保育士と一緒に元気に楽しく過ごしています。

昨年 10 月にはちょっと足を延ばして、茶臼山動物公園へ秋の遠足。ハロウィンでは仮装して館内を回り、ご入居者や職員からたくさんお菓子をもらいました。12 月にはちょっぴり怖かったけどサンタクロースからプレゼントをもらい、楽しい 1 年を送りました。今年はどんな楽しいことが待っているかな？



秋の遠足・茶臼山動物公園にて(H30.10.10)



写真展を開いた清水かほりさん

清水かほりさん
写真展
昨年の十一月十七日から十二月十五日にかけて市内在住の清水かほりさんの写真展が施設正面玄関・地域の縁側「いこい広場」で開かれました。昨年度に続き今回が二回目。清水さんは中学生の頃に精神を患ったのをきっかけにカメラを始め、現在もお勤めをしながら趣味の写真撮影を続けています。作品の舞台はご自身が生まれ育った信州新町。中山間地の何気ない風景や四季の移ろいの一コマを切り取った温か味のある、どこか懐かしい作品です。期間中、ご入居者やご家族、外部からのお客様を始め、職員の間も楽しませてくれました。清水さんありがとうございました。

感染症から身を守るう！！

インフルエンザ・ノロウイルスなどの感染症が流行する季節になりました。こうした感染症から身を守るためには、日常的な手洗い・うがい大切です。健康管理、感染症の予防のためにも、手洗い・うがいを日頃の習慣にすることをお勧めします。

◆手洗いの方法◆

- ① 時計やアクセサリを外す。
- ② 水で手を濡らす。
- ③ 石けんをつけ、良く泡立てる。
- ④ 手のひらと手の甲をこすって洗う。
- ⑤ 指と指の間を洗う。
- ⑥ 親指を反対の手で包んで洗う。
- ⑦ 指先、爪、爪の間を反対の手のひらでこすって洗う。
- ⑧ 手首を洗う。
- ⑨ 水で十分にすすぐ(10~15 秒)。
- ⑩ 清潔なタオルやペーパータオルで手を拭く。



基本は 手洗い・うがい

◆うがいの方法◆

- ① 一含み(約 20ml)の水(お茶も殺菌作用があるので意外と効果的です)を口に含む。
- ② まず、口の中の食物のカスなどを取り除くため、強くうがいをする。
- ③ 上を向いて、のどの奥まで液が届くように 15 秒程度うがいをする。
- ④ ③と同様に、もう一度 15 秒程度うがいをする。



2018 年末 年越し準備



餅つき大会

昨年の 12 月 20 日、毎年恒例の餅つき大会が施設玄関前で行われました。つきたてのお餅は大変美味しいですが、特に高齢者では誤ってのどに詰まらせてしまうリスクも高いため、一昨年より「餅つき」という冬の風物詩は残しつつ「ついたお餅で鏡餅を作り館内に飾ろう」という企画で行われています。当日は暖冬の影響もあり比較的暖かく、多くのご入居者様にも実際に餅つきを体験していただきました(写真)。ついたお餅はさっそく「鏡餅班」に渡され、ご入居者も加わって手作り鏡餅に変身。お正月、館内に飾られました。



く「鏡餅班」に渡され、ご入居者も加わって手作り鏡餅に変身。お正月、館内に飾られました。

しめ縄づくり

昨年の 12 月 4 日、新年を迎える準備として毎年恒例のしめ縄作りが行われました。地元の老人クラブ・和楽会の皆様を講師としてお招きし、近隣の篠ノ井東中学校の皆さんにもお手伝いいただきました。しめ縄作りはほとんどの生徒さんが初めてでしたが、和楽会の皆様から指導を受けて一人数本のしめ縄を仕上げ、出来栄の良い一本をお土産として持ち帰りました。続いて、施設玄関に飾る大しめ縄作りも行われ、長さ約 2.5m の立派な大しめ縄が完成し無事にお正月の準備が整いました。和楽会、東中の生徒の皆さんご協力ありがとうございました。



成し無事にお正月の準備が整いました。和楽会、東中の生徒の皆さんご協力ありがとうございました。



旧西寺尾小学校の校歌を歌いました



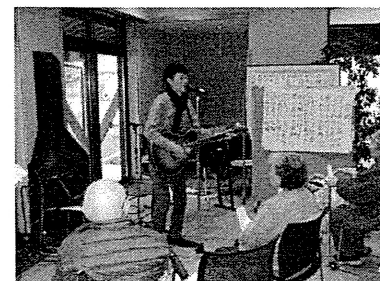
地域交流イベント「夕暮れコンサート」にて



昨年の 11 月 24 日、地域交流イベントとして「夕暮れコンサート」が施設正面玄関・地域の縁側「いこい広場」で行われました。今回は一昨年 7 月の「夕涼みコンサート」で好評だった「旧西寺尾小学校校歌」をみんなで歌うという企画。デイサービスの一瀬生活相談員、町田護士士のキーボード、ギター伴奏に合わせて同校の校歌をはじめ童謡や唱歌、懐かしい流行歌などを参加者みんなで楽しく歌いました。

「旧西寺尾小学校校歌」は、当施設が同校の跡地に建てられたという縁もあり、数年前にデイサービスの一瀬生活相談員が中心となって記念文集や同校卒業生のご利用者の証言等をもとに復活に取り組み、現在ではデイサービスの活動中にも歌われています。

当日も参加された同校卒業生のデイサービスご利用者、特養入居者、ご近所の方などが昔を懐かしみ大きな声で校歌を歌っていました。



【西寺尾小学校校歌】

一、千曲の川と県道と
十字のなりに交わりて
東西三区に分かるれど
往来運輸たよりよし

二、色こそ変われおしえ草
進みゆく世に伴いて
一つ学びの庭のうち
栄ゆる様ぞなつかしき

ほほえみ新聞

THE Yasuragi

http://m-yasuragi.com

ホームページもご覧下さい

2019年1月発行(第60号)

編集:やすらぎの園 広報部

E-Mail: nagano@m-yasuragi.com

所在地: 〒388-8019

長野市篠ノ井杵淵 213-4

TEL026-293-2600 Fax026-293-2959

やすらぎの園町内会発足



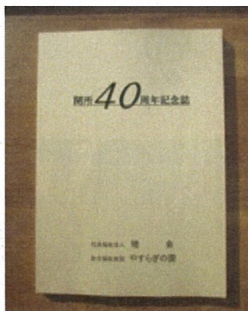
昨年十二月 設立総会を開催

昨年十二月一日、特養のご入居者による「やすらぎの園町内会」が発足しました。それにあたり設立総会が館内むつみホールにて開かれ、特養に十二あるユニットより代表者が一堂に会し、当施設での暮らしがより快適になるよう日頃の想いなどを語り合いました。また、会の中で初代の町内会長、副会長が選任され、会議の途中からは新会長の進行の下、和やかな雰囲気の中

開所四十周年記念誌発行

長野拠点全職員が寄稿

昨年の十二月十七日、記念誌編集委員会(委員長 長新村副統括施設長)を中心として編集を行ってきた「開所四十周年記念誌」が完成し、長野拠点全職員及び関係者に配布されました。製本以外は全て「手作り」の記念誌で、完成にあたり数カ月を渡って編集に携わった委員の喜びもひとしおであったようです。内容は四十周年を迎えたやすらぎの園の「今」を凝縮したものとなり、おり、長野拠点全職員も寄稿しています。この時を共にした仲間の思いがたくさん詰まった温か味のある素敵な記念誌になりました。



活発な意見交換が行われ、会の最後、結婚を機に他県より移住されてきた代表者の方より、長野県歌「信濃の国」を覚えたことと、要望があり、会長の提案により参加者全員で大合唱し、閉会となりました。今後は年三、四回の開催とし、次回は三月中旬頃に開催の予定です。議題内容については、会長・副会長と開催前に相談の上、進めていくこととなります。今後の町内会の活動がご入居者のより良い暮らしに繋がるよう応援していきます。

家族会大掃除

昨年の十二月一日、毎年恒例の家族会大掃除が行われ、五十家族六十七名の皆様にご参加いただきました。当日はこの時期として大変温かく、施設外周の落ち葉掃きや、すす払いなどの外作業も大変はかどりまりました。施設職員もご家族の皆様と共に清掃作業に汗を流し、お蔭をもちまして施設の隅々まできれいになりました。その後、昼食会も例年にも増して多くのご家族にご参加いただき、ゲームなども交えながら楽しく、和やかな時間を過ごしました。大掃除にご協力いただいたご家族の皆様へ感謝申し上げます。



杉の子保育園 年長組

クリスマス交歓会



昨年の12月18日、近隣の杉の子保育園より年長組の園児の皆さんをお招きして、施設内「むつみホール」において、クリスマス交歓会が賑やかに行われました。施設開設時から続く冬の伝統行事。ご入居者の皆さんも年に1度のこの日を大変楽しみにしています。今回の交歓会はどんな催しが行われたのでしょうか。

会場となった「むつみホール」は、かわいい園児たちを迎えるため、クリスマスツリーや電飾、色とりどりの装飾がなされクリスマスムードを盛り上げます。ご入居者が待ちかねる中、いよいよ園児たちが登場、大きな拍手が起こりました。交歓会が始まると会場内は園児たちの元気な歌声とパワーでいっぱい…。ご入居者と一緒に手遊びをしたり、ペンライトをかざして「きよしこの夜」を歌いました。また、園児の皆さんからカレンダーとお花の素敵なプレゼントをいただきました。するとそこになぞなぞ好きなサンタクロースが登場。園児たちはサンタクロースが出す難問奇問(?)を見事にクリアして、プレゼントを一人ずつ受け取りました。杉の子保育園の皆さん、楽しい時間をありがとう。次回もまたお待ちしております。



やすらぎフォトギャラリー

当施設のさまざまな取り組みを皆様に写真でお届けします。



冬物衣料販売・むつみホール(10月)



広徳中学校芋掘り交流会(10月)



社交ダンス交流会(11月)

編集後記

わが家の息子たち(小四、年長)は生まれてこの方理美容店へ行ったことがありません。『ロン毛の兄弟!』ではありません。通称『Barberおやじ』のお客さん。お代はいりませんが、髪型の注文及びその保証、苦情等には一切応じません。

息子たちがまだ小さな頃(二、三歳頃)は、イスにじっと座っていることができません。お昼寝で寝ている隙に、時には外で遊んでいるところを追いかけながら髪をつまんで切ったり…とそんな仕上がりでした。

この頃は、兄はともかく弟もお気に入りDVDなどを見ながらしばらくじっと座っていることができるようになり、『おやじ』にもこれこれ十年のキャリアがついたので、見るに耐える(?)仕上がりとなるようになりました。

とはいえ、未だアマチュアの域は脱せず、後頭部あたりの刈り上げは「虎刈りチック」になつてしまうことも…。しかしながら、髪を切られている本人には後ろは見えませんが、鏡で仕上がりを見て笑顔で満足気。(息子よ、ごめん)と心で言いながら、「うん、似合ってる」と苦笑い。

弟はまだしも、兄は今年で小学五年生。「こんな髪型嫌だ」と『Barberおやじ』を去つていく日も近いのでしょうか?そんなことを思ううちよつぱり淋しい店主なのでした。

ヨシタカ

※紙面上の入居者様の写真は、ご本人及びご家族の了承を得て掲載しています。

謹賀新年

昨年中に賜りましたご厚情に御礼いたしますと共に、希望の新年、本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

総合福祉施設 やすらぎの園
統括施設長 中島 謙二